

地産地消の住まいづくりへ

ACTIVE KUMIAI

協同組合山梨県産材健康住宅研究会近藤渉理事長は、健康にも環境にも配慮した家づくりを推進している。平成17年4月に設立された当組合の完成住宅は現在29棟を数える。

当組合では、住宅の構造材および細部の造作、またインテリアなどその他部材にも極力地産品を取り入れようとしており、地産地消による資源循環と地球環境に貢献する住まいづくりを提案している。

最近の取り組みには、富士川流域材ツアーと題して、伐採体験など山梨県の森林に触れる機会の提供や、再生PETを使用した排水管を標準仕様とするなどがある。また、地産地消の考えの裏付けとして「ウッドマイレージ」という活動に取り組んでいる。「ウッドマイレージ」とは、木材の輸送距離と木材量を乗じたもので、木材輸送過程のエネルギー消費を少なくし、環境にやさしい木の利用を促進するための指標として使われ始めているもので、当組合の南部町のモデルハウスはCO₂排出量において平均的な住宅に比べ98%の削減という数値を算出している。このように他分野との連携を含めたエコロジー、地産地消、環境共生、安全・安心など多方面での活動は盛んである。

可能な限りシックハウスなどの有害物質の削減を追求する健康住宅としての特徴、自然素材を基本に、可能な限り土に還る、再利用しやすい、リサイクルしやすい、廃棄時に環境への負荷が小さい建材を選定し、ごみ問題にも配慮しつつ、地産地消を推進する環境共生住宅としての特徴。これらの特徴を備えた健康住宅を普及すべく、昨年5月にオープンした南部町モデルハウス「蔵の家」、今年4月リニューアルオープンした甲府市平瀬町のモデルハウスを活用し、他分野を絡めた研究を重ね、新しい家づくりの仕組みを確立させ、一人でも多くの方に住んで頂き、より良い地球環境と循環型資源による持続可能な社会を次世代に残したいと考えている。

お問い合わせは

住所 山梨県甲府市平瀬町399 9

TEL 0120 251 090

HP http://www.geocities.jp/vernacular_alps/

TOPICS

協同組合山梨県産材健康住宅研究会



南部町モデルハウス「蔵の家」